

## エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（マネー・プールファンド）

### 運用報告書（全体版）

第10期（決算日 2015年8月20日）

#### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。  
「エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（マネー・プールファンド）」は、2015年8月20日に第10期の決算を行ないましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。  
今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

#### 当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／国内／債券	
信託期間	2010年12月9日から2020年8月20日までです。	
運用方針	主として「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券ならびにわが国の国債および格付の高い公社債に投資を行ない、利息等収益の確保をめざして運用を行ないます。	
主要運用対象	エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（マネー・プールファンド）	「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券ならびにわが国の国債および格付の高い公社債を主要投資対象とします。
	マネー・アカウント・マザーファンド	わが国の国債および格付の高い公社債を主要投資対象とします。
組入制限	エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（マネー・プールファンド）	株式への投資割合は、信託財産の総額の10%以下とします。 外貨建資産への投資は行ないません。
	マネー・アカウント・マザーファンド	株式への投資は行ないません。 外貨建資産への投資は行ないません。
分配方針	毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。	

<641499>

## 日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号  
http://www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 電話番号：0120-25-1404  
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

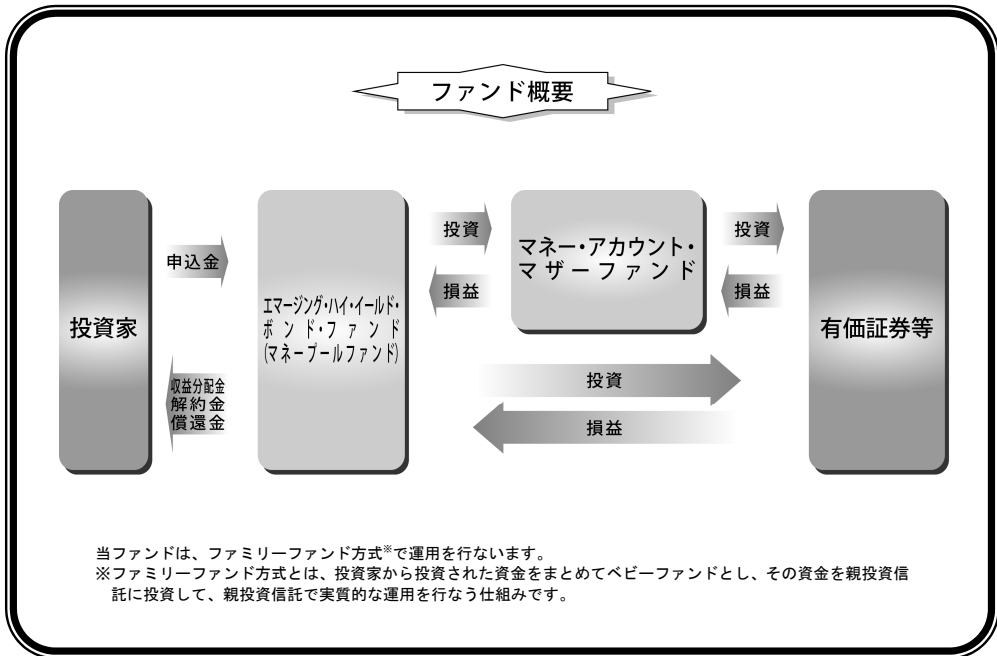
●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

# Contents

⊕ エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（マネー・プールファンド） … 1

（ご参考）投資対象先の直近の内容

◆ マネー・アカウント・マザーファンド …… 12



【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近5期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価額			債 組 入 比	券 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 金 騰 落 中 率			
	円		円		%		百万円
6期(2013年8月20日)	10,010		0		69.9		149
7期(2014年2月20日)	10,013		0		72.1		156
8期(2014年8月20日)	10,014		0		67.5		108
9期(2015年2月20日)	10,012		0	△0.0	96.0		70
10期(2015年8月20日)	10,012		0	0.0	79.3		91

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		債 組 入 比	券 率
		騰 落	率		
(期首) 2015年2月20日	円		%		%
		10,012	—		96.0
2月末		10,012	0.0		81.4
3月末		10,012	0.0		79.5
4月末		10,013	0.0		81.9
5月末		10,012	0.0		80.7
6月末		10,012	0.0		73.7
7月末		10,012	0.0		76.9
(期末) 2015年8月20日		10,012	0.0		79.3

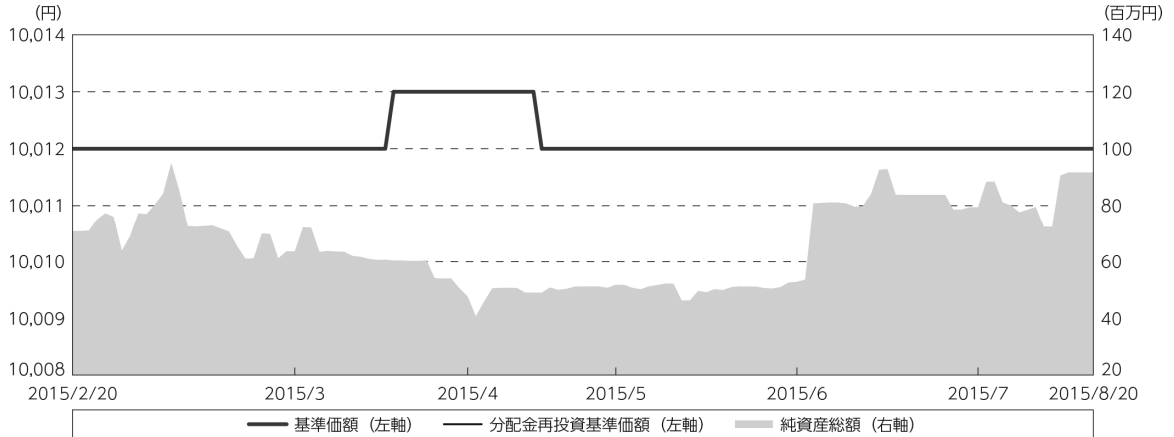
(注) 騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

## ○運用経過

(2015年2月21日～2015年8月20日)

## 期中の基準価額等の推移



期首：10,012円

期末：10,012円（既払分配金（税込み）：0円）

騰落率：0.00%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、期首（2015年2月20日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第3位を四捨五入して表示しております。

## ○基準価額の推移

期首10,012円の基準価額は、期末に10,012円となり、騰落率は0.00%となりました。

## ○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、「マネー・アカウント・マザーファンド」ならびにわが国の国債および格付の高い公社債に投資を行ない、安定した収益の確保をめざして運用を行なっております。期中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

&lt;値上がり要因&gt;

- ・利息収入など。

## 投資環境

（国内短期金利市況）

無担保コール翌日物金利は、期中、概ね0.05%～0.09%の範囲で安定的に推移しました。国庫短期証券（TB）3ヵ月物金利は、期首から2015年6月にかけては、日銀がTBの買入れ額を減額したことなどを背景にプラスの利回りとなる局面もありましたが、概ね0.00%近辺でもみ合いの推移となりました。7月に入ると、ギリシャの債務問題を背景としたユーロ圏からの資金流入などもあり一時的に-0.07%台まで低下する局面があったものの、0.00%近辺で期末を迎えました。

## 当ファンドのポートフォリオ

（当ファンド）

当ファンドは、「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券や、コール・ローン等を利用して、利息等収益の確保をめざしました。

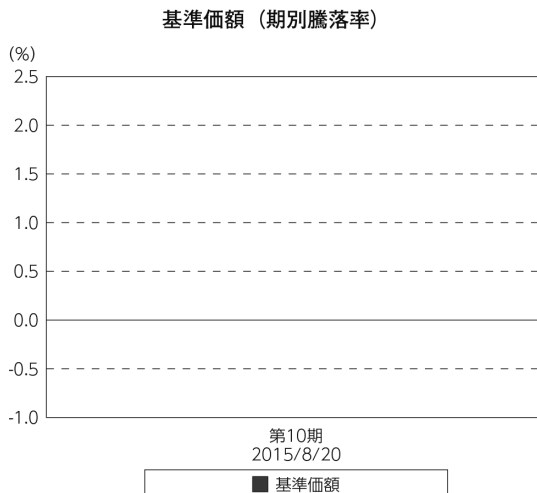
（マネー・アカウント・マザーファンド）

運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行いました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

右記のグラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



（注）基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

## 分配金

基準価額水準、市況動向などを勘案し、当期の分配を見送りいたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

### ○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第10期
	2015年2月21日～ 2015年8月20日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	14

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

### ○今後の運用方針

（当ファンド）

引き続き、原則として「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券およびわが国の国債や格付の高い公社債に投資を行ない、利息等収益の確保をめざして運用を行なう方針です。

（マネー・アカウント・マザーファンド）

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主な投資対象は、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2015年2月21日～2015年8月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円	%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(0)	(0.000)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(2)	(0.015)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
（ 受 託 会 社 ）	(0)	(0.003)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	0	0.001	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	2	0.020	
期中の平均基準価額は、10,012円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2015年2月21日～2015年8月20日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
マネー・アカウント・マザーファンド	千口 153,560	千円 154,214	千口 148,092	千円 148,721

○利害関係人との取引状況等

(2015年2月21日～2015年8月20日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2015年2月21日～2015年8月20日)

該当事項はございません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2015年2月21日～2015年8月20日)

当期首残高 (元本)	当期設定 元本	当期解約 元本	当期末残高 (元本)	取 引 理 由
百万円 10	百万円 —	百万円 —	百万円 10	当初設定時における取得



## ○組入資産の明細

(2015年8月20日現在)

## 親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期	末
	口 数	口 数	評 価 額
マネー・アカウント・マザーファンド	千口 84,911	千口 90,379	千円 90,767

## ○投資信託財産の構成

(2015年8月20日現在)

項 目	当 期	末
	評 価 額	比 率
マネー・アカウント・マザーファンド	千円 90,767	% 99.0
コール・ローン等、その他	929	1.0
投資信託財産総額	91,696	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2015年8月20日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	91,696,602
コール・ローン等	928,694
マネー・アカウント・マザーファンド(評価額)	90,767,907
未収利息	1
(B) 負債	14,160
未払解約金	2,004
未払信託報酬	11,351
その他未払費用	805
(C) 純資産総額(A-B)	91,682,442
元本	91,576,271
次期繰越損益金	106,171
(D) 受益権総口数	91,576,271口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,012円

(注) 当ファンドの期首元本額は70,718,327円、期中追加設定元本額は193,227,853円、期中一部解約元本額は172,369,909円です。  
 (注) 1口当たり純資産額は1,0012円です。

○損益の状況（2015年2月21日～2015年8月20日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	756
受取利息	756
(B) 有価証券売買損益	6,970
売買益	28,728
売買損	△ 21,758
(C) 信託報酬等	△ 12,156
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 4,430
(E) 前期繰越損益金	△ 451
(F) 追加信託差損益金	111,052
(配当等相当額)	( 135,136)
(売買損益相当額)	(△ 24,084)
(G) 計(D+E+F)	106,171
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	106,171
追加信託差損益金	111,052
(配当等相当額)	( 135,435)
(売買損益相当額)	(△ 24,383)
分配準備積立金	36
繰越損益金	△ 4,917

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
 (注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。  
 (注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程（2015年2月21日～2015年8月20日）は以下の通りです。

項 目	2015年2月21日～ 2015年8月20日
a. 配当等収益(経費控除後)	0円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	135,435円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	36円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	135,471円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	14円
g. 分配金	0円

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

## ○お知らせ

---

### 約款変更について

2015年2月21日から2015年8月20日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

## ご参考

「資産、負債、元本及び基準価額の状況」および「損益の状況」に記載している一般的な項目についての説明。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	説 明
(A) 資産	ファンドの有する財産の合計額
コール・ローン等	金融機関向けの短期貸付資金や短期金融商品等の残高
各有価証券等(評価額)	株や債券、ファンド等の有価証券等の評価額
未収入金	入金予定の有価証券の売却代金等
未収配当金	入金予定の株式等の配当金
未収利息	入金予定の債券等の利息
(B) 負債	支払い予定額の合計
未払金	支払い予定の有価証券の買付代金等
未払収益分配金	支払い予定の収益分配金
未払信託報酬	支払い予定の信託報酬の金額
(C) 純資産総額(A-B)	ファンド全体の評価金額
元本	ファンドの元本部分の残高
次期繰越損益金	純資産総額と元本残高との差額で、翌期に繰越す損益金の合計額
(D) 受益権総口数	受益者の保有総口数
1(万)口当たり基準価額(C÷D)	ファンドの単位当たりの時価

## ○損益の状況

項 目	説 明
(A) 配当等収益	ファンドが直接受け取った配当金や利息等の合計
受取配当金	ファンドが直接受け取った株式等の配当金の合計
受取利息	ファンドが直接受け取ったコール・ローンや債券等の利息の合計
(B) 有価証券売買損益	有価証券売買時の損益と評価損益の合計
売買益	各有価証券の売買益と期末評価益の合計
売買損	各有価証券の売買損と期末評価損の合計
(C) 信託報酬等	信託報酬や保管費用等のファンドの経費
(D) 当期損益金(A+B+C)	当期における収支合計
(E) 前期繰越損益金	前期分の繰越損益金と分配準備積立金の合計から当期中の解約で発生する取り崩し分を控除した金額
(F) 追加信託差損益金	受益者がファンドに新規に払込んだ金額とファンドの元本との差額(基準価額と単位当たり元本との差額)を調整した金額
(配当等相当額)	(配当等に相当する額)
(売買損益相当額)	(売買損益に相当する額)
(G) 計(D+E+F)	期中の収支の総合計額
(H) 収益分配金	収益分配金の合計額
次期繰越損益金(G+H)	翌期に繰り越す損益金の合計額(期中の収支の総合計額から収益分配金の金額を引いたもの)
追加信託差損益金	翌期に繰り越す追加信託差損益金
(配当等相当額)	(配当等に相当する額)
(売買損益相当額)	(売買損益に相当する額)
分配準備積立金	分配金を支払うための準備積立金
繰越損益金	繰越損益の合計金額

○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

（2015年8月20日現在）

<マネー・アカウント・マザーファンド>

下記は、マネー・アカウント・マザーファンド全体(708,435千口)の内容です。

国内公社債

(A) 国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期				末		
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	570,000 (570,000)	569,999 (569,999)	80.1 (80.1)	— (—)	— (—)	— (—)	80.1 (80.1)
合 計	570,000 (570,000)	569,999 (569,999)	80.1 (80.1)	— (—)	— (—)	— (—)	80.1 (80.1)

(注) ( )内は非上場債で内書きです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期				償 還 年 月 日
	利 率	額 面 金 額	評 価 額		
国債証券	%	千円	千円		
第487回国庫短期証券	—	10,000	9,999		2015/10/20
第540回国庫短期証券	—	180,000	179,999		2015/9/24
第548回国庫短期証券	—	80,000	79,999		2015/11/2
第550回国庫短期証券	—	300,000	299,999		2015/11/9
合 計		570,000	569,999		

当ファンドの主要投資対象先の直近の運用状況について、法令および諸規則に基づき、次ページ以降にご報告申し上げます。

# マナー・アカウント・マザーファンド

## 運用報告書

第5期（決算日 2014年10月14日）  
 (2013年10月16日～2014年10月14日)

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2009年10月30日から原則無期限です。
運用方針	公社債への投資により、安定した収益の確保をめざして安定運用を行いません。
主要運用対象	わが国の国債および格付の高い公社債を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資は行いません。 外貨建資産への投資は行いません。

### ファンド概要

主として、わが国の国債および格付の高い公社債に投資を行ない、利息等収益の確保をめざして運用を行いません。

ただし、市況動向に急激な変化が生じたとき、ならびに残存信託期間、残存元本が運用に支障をきたす水準となったときなどやむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

◆設定以来の運用実績

決算期	基準	価額		債組	入比	券率	純総	資産	産額
		騰	落						
(設定日)	円					%			百万円
2009年10月30日	10,000					—			4
1期(2010年10月12日)	10,009					0.1			59
2期(2011年10月12日)	10,018					0.1			598
3期(2012年10月12日)	10,027					0.1			699
4期(2013年10月15日)	10,035					0.1			778
5期(2014年10月14日)	10,042					0.1			707

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

◆当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準	価額		債組	入比	券率
		騰	落			
(期首)	円					%
2013年10月15日	10,035					—
2014年	10月末	10,036				0.0
	11月末	10,036				0.0
	12月末	10,037				0.0
	1月末	10,038				0.0
	2月末	10,038				0.0
	3月末	10,039				0.0
	4月末	10,039				0.0
	5月末	10,040				0.0
	6月末	10,040				0.0
	7月末	10,041				0.1
8月末	10,041				0.1	
9月末	10,042				0.1	
(期末)						
2014年10月14日	10,042					0.1

(注) 騰落率は期首比です。

◆運用実績

(2013年10月16日～2014年10月14日)

基準価額の推移

期首10,035円の基準価額は、期中に7円値上がりし、期末に10,042円となりました。

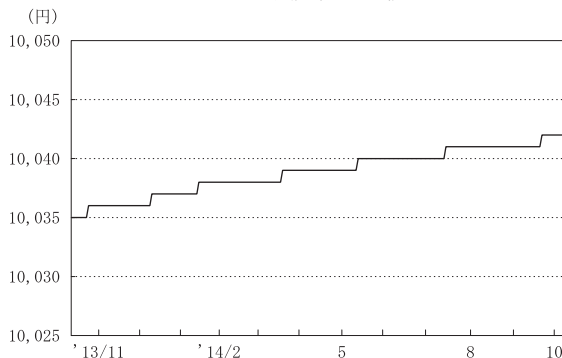
基準価額の変動要因

期中、基準価額に影響した主な要因は以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・利息収入など。

基準価額の推移



期首	期中高値	期中安値	期末
2013/10/15	2014/09/22	2013/10/16	2014/10/14
10,035円	10,042円	10,035円	10,042円

(投資環境)

期中、無担保コール翌日物金利は安定的に概ね0.09%を下回る水準で推移しました。

国庫短期証券 (TB) 3ヵ月物金利は、期首から2014年1月上旬にかけては、0.06%近辺を中心にもみ合いの展開が続きました。1月中旬から3月下旬にかけては、日銀による積極的な金融緩和姿勢などを受けて低下基調となり、0.02%台まで低下しました。4月に入ると、年度末を越えたことなどによる買い需要の後退や、日銀によるTB買入れ額が市場予想を下回るとの懸念などから上昇し、4月末にかけては、0.06%台となりました。7月中旬にかけては、日銀による金融緩和の継続や、海外からの投資資金の流入などを背景に0.02%近辺まで低下しました。その後は横ばいの展開が続きましたが、9月に入ると、日銀による積極的な短期国債の買入れ姿勢などを背景にマイナス金利での出合いが観測されるなど、限界的な金利の低下が続きました。

ポートフォリオ

運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。



◆今後の運用方針

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主要投資対象は原則として、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願ひ申しあげます。

◆1万口(元本10,000円)当たりの費用の明細

(2013年10月16日～2014年10月14日)

該当事項はございません。

◆売買及び取引の状況

(2013年10月16日～2014年10月14日)

公社債

		買付額	売付額
		千円	千円
国	国債証券	105,256,432	104,466,714
内		(	1,050,000)

(注) 金額は受け渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) ( )内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注) 債券現先を含めています。

◆利害関係人との取引状況等

(2013年10月16日～2014年10月14日)

期中における利害関係人との取引はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人等です。

◆組入資産の明細

(2014年10月14日現在)

国内(邦貨建)公社債

区 分	当 期			期 末			
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国 債 証 券	430,000 (430,000)	429,998 (429,998)	60.8 ( 60.8)	— ( —)	— ( —)	— ( —)	60.8 ( 60.8)
合 計	430,000 (430,000)	429,998 (429,998)	60.8 ( 60.8)	— ( —)	— ( —)	— ( —)	60.8 ( 60.8)

(注) ( )内は非上場債で内書きです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

国内(邦貨建)公社債銘柄別

銘 柄	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券	%	千円	千円	
第479回国庫短期証券	—	220,000	219,998	2014/12/15
第481回国庫短期証券	—	210,000	209,999	2014/12/22
合 計		430,000	429,998	

◆投資信託財産の構成

(2014年10月14日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	千円 429,998	% 59.9
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	288,182	40.1
投 資 信 託 財 産 総 額	718,180	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

◆資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2014年10月14日現在)

項	目	当	期	末
				円
(A) 資産				718,180,143
	コール・ローン等			288,181,430
	公社債(評価額)			429,998,306
	未収利息			407
(B) 負債				11,078,610
	未払解約金			11,078,610
(C) 純資産総額(A-B)				707,101,533
	元本			704,168,192
	次期繰越損益金			2,933,341
(D) 受益権総口数				704,168,192口
	1万口当たり基準価額			10,042円

(注) 当ファンドの期首元本額は775,562,943円、期中追加設定元本額は1,514,620,670円、期中一部解約元本額は1,586,015,421円です。

(注) 2014年10月14日現在の元本の内訳は以下の通りです。

・インデックスファンドMLP(毎月分配型)	100,736,278円	・欧州社債ファンド Aコース(為替ヘッジあり)	1,158,974円
・エマーゼンダ・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・ブラジルレアルコース	98,652,002円	・世界のサイフ2(毎月分配型)	982,619円
・エマーゼンダ・ハイ・イールド・ボンド・ファンド(マネーパールファンド)	98,173,504円	・世界の高配当株式ファンド(通貨選択シリーズ・毎月分配型)ブラジルレアルコース	940,546円
・エマーゼンダ・プラス・成長戦略コース	73,111,261円	・アジアインフラ株ファンド(毎月分配型)インドネシアルピア・コース	754,050円
・エマーゼンダ・プラス(マネーパールファンド)	68,732,390円	・アジア・ハイイールド債券ファンド(為替ヘッジなし)	713,210円
・世界標準債券ファンド	38,371,516円	・アジアインフラ株ファンド(毎月分配型)インドルビー・コース	677,433円
・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルレアル・コース>(毎月分配型)	31,897,437円	・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<南アフリカランド・コース>(毎月分配型)	572,097円
・日興ブルベアセレクト マネーパール・コース	18,029,795円	・USハイインカム・ストラテジー・ファンド(毎月分配型)為替ヘッジあり	538,934円
・日興ハイブリッド3分法ファンド毎月分配型(新興国通貨戦略コース)	17,821,336円	・アジアリートファンド(毎月分配型)	457,624円
・グリーン世銀債ファンド	17,320,498円	・世界標準債券ファンド(1年決算型)	437,508円
・中華圏株式ファンド(毎月分配型)	17,048,429円	・世界の高配当株式ファンド(通貨選択シリーズ・毎月分配型)資源国通貨コース	150,011円
・エマーゼンダ・プラス・円戦略コース	15,610,977円	・日興ブルベアセレクト 米ドル・ダブルプル・コース(毎月分配型)	136,028円
・ビムコUSハイインカム・ローン・ファンド(毎月分配型)為替ヘッジなし	10,947,907円	・日興ブルベアセレクト ブラジルレアル・ダブルプル・コース(毎月分配型)	134,399円
・アジア社債ファンド Bコース(為替ヘッジなし)	9,948,589円	・上場インデックスファンド海外新興国株式(MSCI エマーゼンダ)	99,902円
・高金利成長通貨ファンド(毎月分配型)	6,494,555円	・世界の高配当株式ファンド(通貨選択シリーズ・毎月分配型)オーストラリアドルコース	90,053円
・グローバルCOC債ファンド 新興国高金利通貨コース	6,013,878円	・日興キャピタル・ストラテジー・ファンド毎月分配型(円ヘッジコース)	88,695円
・SMB C・日興 世銀債ファンド	5,265,573円	・世界の高配当株式ファンド(通貨選択シリーズ・毎月分配型)ヘッジなしコース	76,277円
・インデックスファンドMLP・為替ヘッジあり(適格機関投資家向け)	5,252,085円	・アジア債券ファンド(毎月分配型)	69,833円
・エマーゼンダ・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・資源国3通貨コース	5,226,787円	・日興ハイブリッド3分法ファンド毎月分配型(通貨プレミアムコース)	67,835円
・欧州社債ファンド Bコース(為替ヘッジなし)	4,682,488円	・ABグローバル・ハイインカム・オープン(1年決算型)為替ヘッジあり	61,678円
・アジアインフラ株ファンド(毎月分配型)ブラジルレアル・コース	4,620,987円	・日興ブルベアセレクト 米ドル・ベア・コース	58,061円
・アジア社債ファンド Aコース(為替ヘッジあり)	4,496,517円	・日興ブルベアセレクト ブラジルレアル・ベア・コース	50,914円
・日興ハイブリッド3分法ファンド毎月分配型(円ヘッジコース)	4,174,430円	・日興ブルベアセレクト 豪ドル・ダブルプル・コース(毎月分配型)	50,052円
・グローバルCOC債ファンド 先進国高金利通貨コース	3,596,411円	・インド株式ファンド(毎月分配型)	44,339円
・日興グローバル・ファンド	3,050,083円	・日興ブルベアセレクト 豪ドル・ベア・コース	32,130円
・R S 豪ドル債券ファンド	2,990,880円	・日興ハイブリッド3分法ファンド毎月分配型(ヘッジなしコース)	30,888円
・ビムコUSハイインカム・ローン・ファンド(毎月分配型)為替ヘッジあり	2,612,495円	・ABグローバル・ハイインカム・オープン(毎月分配型)為替ヘッジあり	29,155円
・日興マネー・アカウント・ファンド	2,553,952円	・ABグローバル・ハイインカム・オープン(毎月分配型)為替ヘッジなし	27,311円
・エマーゼンダ・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・円コース	2,380,418円	・シンガポール高配当株式ファンド(毎月分配型)	26,130円
・アジアREITオープン(毎月分配型)	2,234,520円	・上場インデックスファンド海外先進国株式(MSCI-KORUSAI)	19,997円
・日興GSグロース・マーケット・ファンド	2,194,506円	・上場インデックスファンド米国株式(S&P500)	19,983円
・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<オーストラリアドル・コース>(毎月分配型)	2,026,521円	・上場インデックスファンド中国H株(ハンセン中国企業株)	19,983円
・日興キャピタル・ストラテジー・ファンド毎月分配型(通貨アルファ戦略コース)	1,898,262円	・上場インデックスファンドCNX Nifty 先物(インド株式)	19,983円
・アジア・ハイイールド債券ファンド(為替ヘッジあり)	1,642,048円	・上場インデックスファンド豪州リート(S&P/ASX200 A-REIT)	19,977円
・グローバルCOC債ファンド ヘッジなしコース	1,580,439円	・オーストラリア・インカム株式ファンド(毎月分配型)	19,818円
・USハイインカム・ストラテジー・ファンド(毎月分配型)為替ヘッジなし	1,445,191円	・ABグローバル・ハイインカム・オープン(1年決算型)為替ヘッジなし	15,775円
・グローバルCOC債ファンド 円ヘッジコース	1,379,056円	・上場インデックスファンド新興国債券(パークレイズLocal EM国債)	9,981円
・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<米ドル・コース>(毎月分配型)	1,252,008円		

(注) 1口当たり純資産額は1.0042円です。

◆ 損益の状況

(2013年10月16日～2014年10月14日)

項	目	当	期
			円
(A)	配当等収益		449,768
	受取利息		449,768
(B)	有価証券売買損益		90
	売買益		90
(C)	当期損益金(A+B)		449,858
(D)	前期繰越損益金		2,735,331
(E)	追加信託差損益金		5,818,634
(F)	解約差損益金		△6,070,482
(G)	計(C+D+E+F)		2,933,341
	次期繰越損益金(G)		2,933,341

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上処理しています。

◆ お知らせ

約款変更について

2013年10月16日から2014年10月14日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。